都市再生整備計画（第一回変更）

上幟町周辺地区（かみのぼりちょうしゅうへん）

広島県（ひろしま）　広島市（ひろしまし）

令和8年2月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業（社会資本整備総合交付金）	□
都市再生整備計画事業（防災・安全交付金）	□
まちなかウォーカブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式（1）-②

都道府県名	広島	市町村名	広島市（ひろしまし）	地区名	上幟町周辺地区（かみのぼりちょうしゅうへんちく）	面積	30.2 ha

計画期間	令和 7 年度 ～ 令和 11 年度	交付期間	令和 7 年度 ～ 令和 10 年度

目標

大目標：地域資源を活かした文化が息づく魅力あふれるまちづくり
目標1：歴史・文化を学び・発信する機能を強化し、都市の魅力向上を図る
目標2：都心の地域資源を巡る「都心回廊」の回遊性向上を図る

目標設定の根拠

都市全体の再編方針（都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針）

第6次広島市基本計画において、「活力の創出と都市の個性の確立を目指したまちづくり」を目標としており、「楕円形の都心づくりの推進」及び「拠点地区等におけるまちづくりの推進」の二つを基本方針として定めている。これらの都市づくりを実現するための土台として、広島市都市計画マスタープランにおいて、公共交通等で連携された「集約型都市構造への転換」を目指すこととしており、これを推進するためのアクションプランとして「広島市立地適正化計画」を作成し、公共交通による居住の利便性が高い区域に居住機能や都市機能を誘導するエリアを設定しコンパクトなまちづくりを推進する。

まちづくりの経緯及び現況

・昭和53年（1978年）に策定した「広島市新基本計画」において、平和記念公園や平和大通り及びその一帯に存在する平和記念施設に観光客を誘引し、ヒロシマの心を広げる一助とするため、広島駅から稲荷町、比治山下、鶴見橋、平和大通りを経て平和記念公園に至る「平和の道」、及び広島駅から縮景園、県立美術館、広島城を経て平和記念公園に至る「文化の道」の整備が位置付けられた。その後本市は、社会情勢が変化する中、将来にわたって魅力あふれる「まち」であり続けるための方向性を示した「広島市都心マスタープラン」を策定し、「集約型都市構造」への転換を掲げるとともに、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を都心の東西の核と位置づけ、都市機能の集約・強化を図ることにより、相互に刺激し高めあう「楕円形の都心づくり」を推進することとした。そして、平成29年には「ひろしま都心活性化プラン」を策定し、「誰もが集える、にぎわいと交流の都心”ひろしま”」を将来像に掲げ、その実現に向けては、地域の特性をテーマに都心を6つのゾーンに区分し、各ゾーンが目指す将来像イメージと地域の特性や役割に応じた取組を示すとともに、各ゾーンがつながり、にぎわいと交流を都心全体に広げるため、平和記念公園が設計された際に構想された「南北の軸」と平和大通りによる「東西の軸」を「平和の軸」とし、都心に存在する平和記念公園等の地域資源を廻る「都心回廊」の考え方の下、「人が中心となる回遊ネットワーク」「おもてなしを創出する水・花・緑のネットワーク」の形成が進められている。
・「ひろしま都心活性化プラン」を受けて策定された「平和大通りの利活用のための基本計画」においても、陸の東の玄関口であるJR広島駅に到着した国内外からの観光客等が都心を訪れ、徒歩や自転車等により、平和記念公園、平和大通り、比治山公園、縮景園、広島城、中央公園などの地域資源を巡り、広島の歴史・文化やにぎわいあふれる広島の「今」を感じることができる「平和の都心回廊」の形成が提示され、平和大通りを都心回遊の重要な拠点とするための取組が進められている。
・「楕円形の都心づくり」を推進する中において、紙屋町・八丁堀地区と比較して、文化的魅力が少ない状況にあった広島駅周辺地区へ中央図書館が移転することとなり、都心の東西のバランスが更に促進され、地域全体の魅力と回遊性向上の促進が推進されている。
・上幟町地区は旧広島藩主浅野家の別邸があった場所であり、「縮景園」は、元和6年（1620年）に別邸の庭園として築成され、広島県に寄贈された後、原爆により壊滅的な被害を受けながらも約30年かけて復旧されたものである。また、同別邸敷地内には浅野家の私立美術館「観古館」が設立されていたが原爆により完全に建物が焼失し、その後、昭和43年（1968年）には中国地方初の公立美術館「広島県立美術館」が設置された。
・縮景園の東側隣接地にある市長公館については、昭和48年（1973年）の建設から50年が経過して建物や設備が老朽化しており、存廃を含めて検討する時期を迎えている。

課題

・都市の魅力向上を図るため、被爆やその後の復興の歴史だけでなく、本市の被爆以前の歴史・文化などを学び・発信する機能を強化する必要がある。
・都心の各ゾーンのつながりを強化し、都心の地域資源を巡る「都心回廊」の考え方のもと、回遊性向上につなげる必要がある。
・平和大通り方面について回遊性向上の取組が進められていることに併せて、広島駅から縮景園、県立美術館、広島城を経て平和記念公園に至る「文化の道」（北側の都心回廊）についても活性化を図る必要がある。

将来ビジョン（中長期）

◇広島市基本構想（2020年6月）
・都市像として「国際平和文化都市」を掲げ、その具現化に当たり「世界に輝く平和のまち」、「国際的に開かれた活力あるまち」、「文化が息づき豊かな人間性を育むまち」の3つの要素を基に、施策の構想を定めている。
◇第6次広島市基本計画（2020年度～2030年度）
・基本構想に掲げる3つの要素を基に、6つの構想（①「平和への願い」を世界中に広げるまちづくり、②活力の創造と都市の個性の確立を目指したまちづくり、③地域特性に応じた個性的な魅力を生かしたまちづくり、④多様な市民が生き生きと暮らせるまちづくり、⑤保健・医療・福祉、子どもの育成環境の充実を目指したまちづくり、⑥安全で安心して生活でき、豊かな自然を将来に引き継ぐまちづくり）を定めており、そのうち、②において、「都心や拠点地区等におけるまちづくりの推進」を掲げ、楕円形の都心づくりを推進し、都心の求心力を一層高めていく必要があるとしている。
◇広島市都市計画マスタープラン（2013年8月）及び広島市立地適正化計画（2019年1月）
・本市は、都市づくりの目標として「世界に誇れる『まち』広島」を掲げ、“活力”、“魅力”、“快適性”の3つの視点からまちづくりを進めており、この目標を実現するための土台として、公共交通等で連携された「集約型都市構造」への転換をめざすこととしている。その中で広島都心地区では、広島都市圏の発展を牽引する都市にふさわしい都市機能の充実と魅力あるまちづくりを進めることとしている。
◇ひろしま都心活性化プラン（2017年3月）
・2045年に向けた都心の将来像として、「誰もが集える、にぎわいと交流の都心”ひろしま”」を掲げ、3つの目指す姿（「①広島の魅力が人を惹きつけ、にぎわいと交流を生み出す」、「②市民や世界中からの来訪者も往来しやすく回遊できる」、「③豊かな水と緑に囲まれ、多様な世代が安全・安心で快適に生活できる」）の実現に向けて取り組むこととしている。

都市構造再編集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

・上幟町周辺地区は、「立地適正化計画」において高次都市機能誘導区域（都心型）として、都心の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区に隣接するエリアに位置しており、にぎわいと交流を都心全体に広げていくことに資するよう、本市の歴史・文化の発信に係る機能の充実に取り組むことで、都心の魅力向上と都心回廊の回遊性向上を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方　※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

・「ひろしま都心活性化プラン」において「歴史・文化・スポーツ交流ゾーン」に区分され、旧広島藩主浅野家とゆかりの深い縮景園や広島県立美術館が位置している当該地区に、浅野家から寄贈を受けた資料である浅野文庫をはじめとした古文書等や広島ゆかりの文学者の自筆原稿や書簡等の広島文学資料を収蔵する新たな図書館を整備し、都市の更なる魅力の向上を図る。

・新図書館においては、貴重な資料を閲覧できる環境や郷土の歴史・文化に関する調査・研究に資する図書等を配置した閲覧室を設けることで、市民の郷土への学びを支援する。

・また当該地区は、広島駅周辺からのアクセス性も高いことから、広島広域都市圏や国内外からの来訪者を新図書館に誘導し、収蔵資料を基にした展示を通して本市への理解を深めてもらうとともに、広島駅から広島城を経て平和記念公園へと至る都心回廊ルートの回遊性向上が期待できる。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

都市再生土地区画整理事業や都市・地域交通戦略推進事業の特例を受ける場合は当該事業の概要、位置づけを記載。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
来街者の割合	%	地区内歩行者数における来街者の割合（休日・12時間）	都心回廊の回遊性向上を把握する指標。 位置情報ビックデータをもとに、地区の中心から0.8kmを半径とする区域を商圏範囲とし、5地点における10月1か月間の祝休日の歩行者数に占める商圏内に居住または勤務していない人（来街者）の割合の平均値について、令和11年度に基準値の3ポイント増を目標とする。	59%	R5年度	62%	令和11年度
浅野文庫等施設（仮称）の展示観覧者数	人／年	浅野文庫等施設（仮称）の展示観覧者数（累計）	歴史・文化を学び・発信する機能強化を把握する指標。 中央図書館展示スペースでの広島文学資料の展示観覧者数を従前値とし、新図書館では、広島文学資料に浅野文庫をはじめとした古文書等も加えた展示を行うことで、観覧者数を2倍にすることを目標とする。	15,271人	R5年度	30,542人	令和11年度
調べ物を目的とした図書館利用者割合	%	「個人的な調べ物」を目的とする市立図書館来館者数の割合	歴史・文化を学び、発信する機能強化を把握する指標。 市立図書館全館で行う来館者を対象に実施するアンケート回答数に占める、利用目的を「個人的な調べ物」とする来館者の1ポイント増を目標とする。	5.7%	R5年度	6.7%	令和11年度

都市再生整備計画の整備方針等

様式（1）-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
歴史・文化を学び・発信する機能を強化し、都市の魅力向上を図る	【基幹事業】 （誘導施設）浅野文庫等施設（仮称）整備事業
都心の地域資源を巡る「都心回廊」の回遊性向上を図る	【基幹事業】 ・（地域生活基盤）案内板設置 ・（誘導施設）浅野文庫等施設（仮称）整備事業（再掲） 【関連事業】 ・歴史・文化的資源を巡るルートの活性化 ・東部河岸緑地の水辺のにぎわいづくり

その他

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項（都市構造再編集中支援事業）

様式（1）-④-1

交付対象事業費	3,002	交付限度額	1,501	国費率	0.5

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B／C
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		区域内（情報板設置）	広島市	直	1基	R10	R10	R10	R10	2	2	2		2	
高質空間形成施設															
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	賑わい・交流創出施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設	浅野文庫等施設（仮称）	広島市	直	2,600㎡	R7	R11	R7	R10	3,620.7	3,620.7	3,620.7		3,000	1.013
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
こどもまんなかまちづくり事業															
合計										3,622.7	3,622.7	3,622.7	0	3,002	…A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
地域創造支援事業															
事業活用調査															
まちづくり活動推進事業															
合計										0	0	0	0	0	…B

居住誘導促進事業

事業		事業箇所名	事業主体	直／間		（参考）事業期間		交付期間内事業期間		（参考）全体事業費	交付期間内事業費			交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
居住誘導促進事業															
合計										0	0	0	0	0	…C
													合計(A+B+C)	3,002	

（参考）都市構造再編集中支援関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに〇）				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
											0

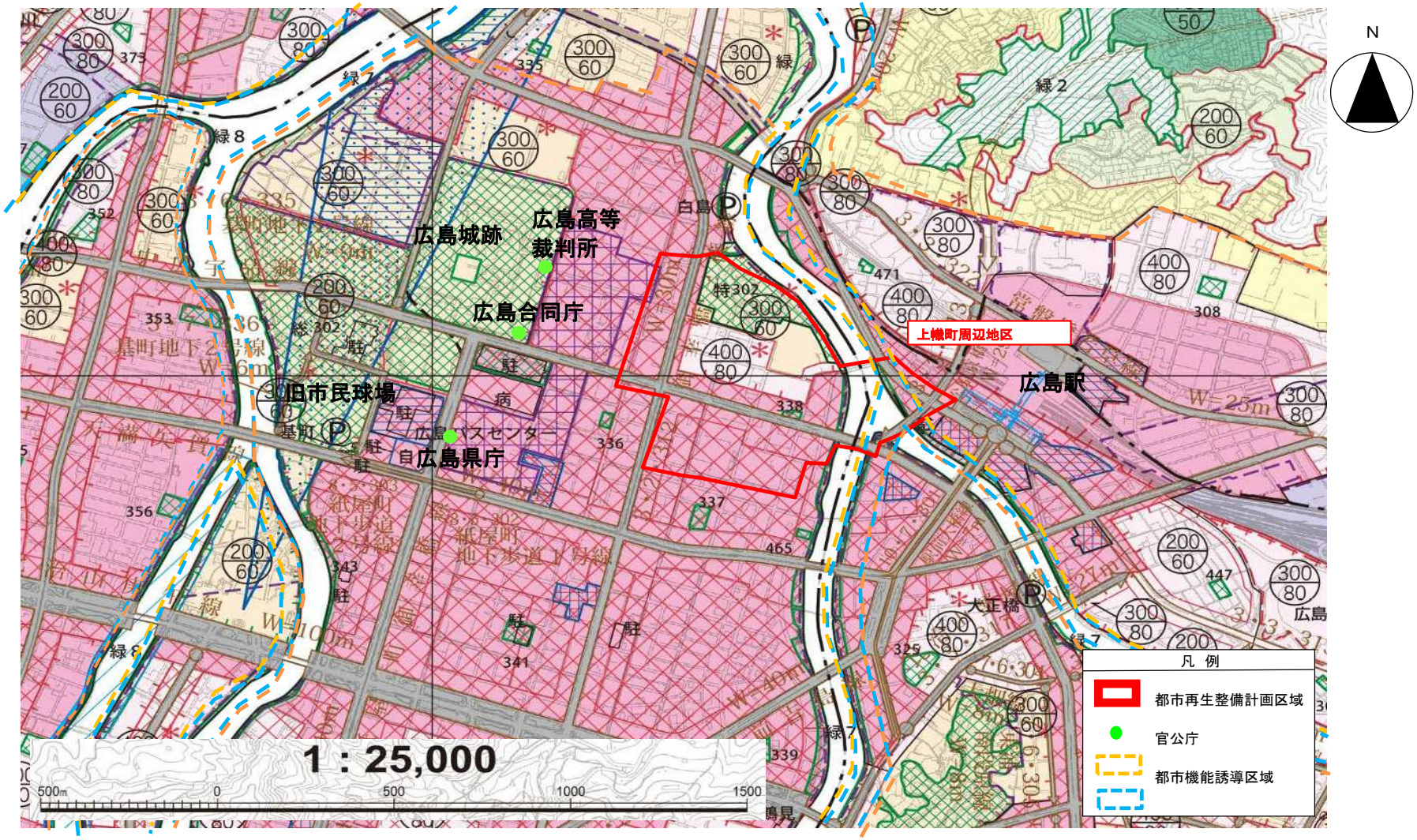
（参考）関連事業

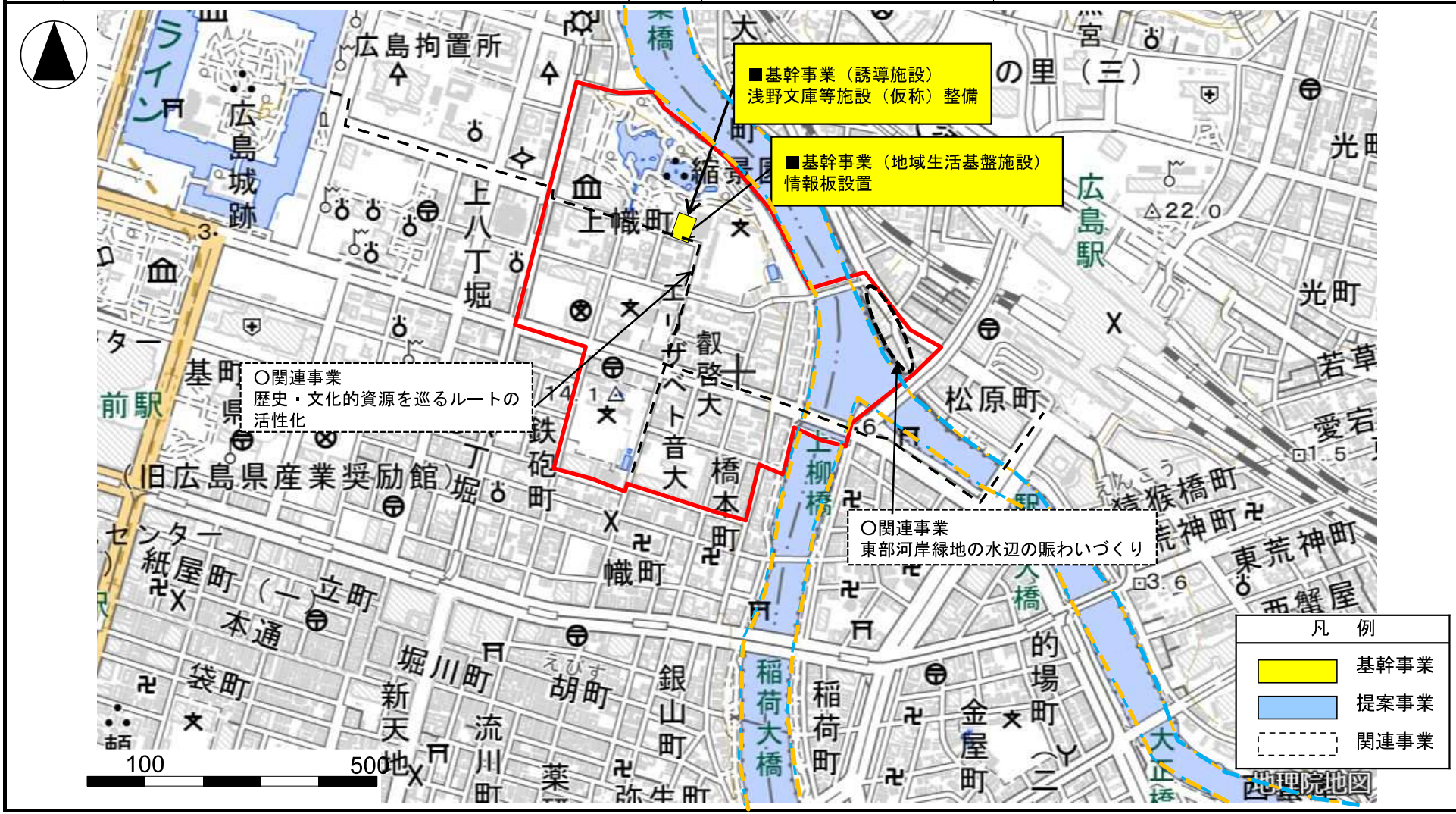
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに〇）				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
東部河岸緑地の水辺の賑わいづくり	広島市南区松原町周辺（東部河岸緑地）	広島市					〇		R8	R11	未定
歴史・文化的地域資源を巡るルートの活性化	広島市中区上幟町周辺	広島市				〇			R9	R11	未定
合計											0

都市再生整備計画の区域

様式（1）-⑥

上幟町周辺地区（広島県広島市）	面積	30.2 ha	区域	広島市中区上幟町の全部と松原町、幟町、橋本町、鉄砲町の一部



上幟町周辺地区（広島県広島市） 整備方針概要図（都市構造再編集中支援事業）

目標	大目標：地域資源を活かした文化が息づく魅力あふれるまちづくり 目標1：歴史・文化を学び・発信する機能を強化し、都市の魅力向上を図る 目標2：都心の地域資源を巡る「都心回廊」の回遊性向上を図る	代表的な指標	来街者の割合	（ % ）	59%	（ 5年度）	→	62% （ 11年度）
			浅野文庫等施設（仮称）の展示観覧者数	（ 人/年 ）	15,271人	（ 5年度）	→	30,542人 （ 11年度）
			調べ物を目的とした図書館利用者割合	（ % ）	5.7%	（ 5年度）	→	6.7% （ 11年度）